

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 3月 8日

事業所名 Ange

保護者等数(児童数)28名 回収数 26名 割合 93%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25 (96%)		1 (4%)		参加人数が多くなると、フリースペースでも子供同士の距離が近くなる。	基準1人当たり3㎡以上のところ42㎡以上を確保しています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	25 (96%)	1 (4%)			専門性に関してはよく知らない	事業所内でスタッフ、保護者向けの研修を開催し、外部の研修にも参加しております。公認心理士や保育士の専門職員の配置も増やしました。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	24 (92%)		2 (8%)		最近活動のスペースを見ていないので確認できないが、適切に配慮されていると思います。	玄関から車椅子で入室できるようにしています。基本、独歩できる方に利用していただいています。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	26 (100%)					
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	26 (100%)					
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9 (35%)	15 (58%)	2 (7%)		・コロナ感染予防の為通常少ないと思うが、出来る限り頑張ってください ・地域の子供達との交流には、地域や学校の協力が必要 ・コロナ禍でもあるし、そういう機会があるのかわからない ・今までどおり公園や体育館等、一般の人がいる所で時々交流してもらえれば	・教育委員会から学童クラブに交流するようにと通達がなされているか確認しております。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26 (100%)					
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	26 (100%)					
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	26 (100%)					
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	26 (100%)					
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	24 (92%)	2 (8%)			・苦情がないのでわからない	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26 (100%)					
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	26 (100%)					
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	26 (100%)					
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	26 (100%)					
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	25 (96%)	1 (4%)				契約時にお伝えし、重要事項説明書に記載しております。またマニュアルとしてはお渡ししておりませんが、年1回福祉防災士を講師にお招きし防災カフェを行い、あらゆる災害についてお伝えしております。ぜひご参加ください。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	25 (96%)	1 (4%)			話せないのがわからないが、療育の場なので楽しい事も、しんどい事もあるのデイエー！という感じというより頑張ってるよ！という感じがかなと思います	保護者と連絡を取り、納得してご利用いただいております。対応を検討しています。
	18	事業所の支援に満足しているか	26 (100%)				・いつも子供一人一人を見守って、子供の目標や、心配な点を一緒に考えて頂いている。もちろん子供の成長と一緒に喜んでもらっていて、親としても自信がつくようになりました ・毎日楽しそうに通っている姿を見ると嬉しくなります	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じた柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 8日

事業所名 Ange

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6 (86%)	1 (14%)		・活動によって机やマットなどの配置を考えている ・基準一人当たり3㎡以上のところ42㎡を確保している	
	2	職員の配置数は適切である	5 (71%)	1 (14%)	1 (14%)	・公認心理師や保育士という専門職員の配置を増やした ・スタッフの数が足りていないように思う	基準の10人に2人加配の配置数は満たしていますが、重度の利用者も多く、職員の数が必要なので求人募集しています
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7 (100%)			基本独歩ができる方にご利用いただき、また、車いす等の利用者は現在いない	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7 (100%)			個別支援計画とモニタリングを合わせると、半年ごとにPDCAができています	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7 (100%)			年一回評価表を活用して調査し、保護者に意見を聞いている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7 (100%)			HPのニュース&トピックスの欄に評価表と月1回の活動の様子を掲載している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6 (86%)	1 (14%)		2年に一度、社員全員が実践記録を書き、報告会を行い、スーパーバイザーに評価をいただいている	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7 (100%)			年間6.7本、独自の研修会を行い、外部研修に参加する時は会社から負担し、研修会に参加しやすくしている	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7 (100%)			保護者に標準化された検査結果を提出していただき、公認心理師が読み解き指導員に説明している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7 (100%)			・公認心理師が行っている ・保護者に検査結果を提出いただいている	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7 (100%)			その日の活動についてスタッフ間で子どもの様子や好きなことを考えながら立案している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7 (100%)			子どもの遊びの変化を見て、2週間ほど同じ活動を続けることもある。季節の催し物に向けての活動などを子どもの発達年齢に合わせて盛り込んでいる	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7 (100%)			それぞれの季節や利用時間にあった、活動を考えている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	7 (100%)				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7 (100%)			職員が全員出勤する時間にミーティングを行い、活動内容・子どもの様子・担当を確認している。送迎等でいない職員には事前に伝えている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7 (100%)			子どもの様子を記録しながら振り返りを行い、出てきた意見を指導員間で共有している。さらに重要度の高い内容は特記事項ファイルに記入しており、スタッフは必ず目を通すことになっている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7 (100%)			その日の活動、子どもの様子について記録する用紙があり、毎日ファイルに保存している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7 (100%)			年に2回、保護者にモニタリングを行い、支援計画を見ながら利用者の姿を確認している	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7 (100%)			総則の読み解きなどを行い、活動している	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7 (100%)			管理者、公認心理師等が参加している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7 (100%)			学校のホームページを随時確認し、学校からデイレに直接連絡はないので、保護者にご協力いただき予定表や学校メールの連絡をいただいている	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7 (100%)			保護者の申し出により、行っている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7 (100%)			保護者の申し出により、行っている	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7 (100%)			令和4年度はペアレントトレーニングの研修を受けた	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5 (71%)	2(29%)		夏祭りを地域の公園で行い、交流する機会を設けた	コロナ禍の為制限して行っている
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6 (86%)	1(14%)		豊中市障害児通所支援事業者連絡会(所属済)が参加しているが、直接内容はわからない	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7 (100%)			送迎時にその日の様子を伝える。必要であれば電話での連絡を行う	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6 (86%)	1(14%)		・随時、相談にのっており、保護者向けの研修会を年5～6回行っている。 ・令和5年度よりweb上で広く周知してペアレントトレーニングの講習を行う。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7 (100%)			随時、相談にのっており、不明点は電話・公式LINE等で保護者とつながり、いつでも聞きやすい状態にしている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7 (100%)			帳票や電話でのやりとりを行っている。また研修後のアンケートで知りたいことを聞き、次年度の研修に取り入れたい、質問に答えたりしている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7 (100%)			研修にて、先輩お母さんからの助言などを聞ける機会を設定している。親子キャンプなどで、保護者同士の交流する機会を設定している	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7 (100%)			・苦情・要望シートに記入、法人内で共有し法人として対応している。場合によっては役所に連絡している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7 (100%)			月に1回ニュースレターを作成し、保護者に発送している。又、HPにも同様のレターを掲載し、広く周知している	
	35	個人情報に十分注意している	7 (100%)			Facebook更新時やニュースレター作成時は職員に共有し、5人以上でチェックを行っている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7 (100%)			Official LINEを利用し、迅速に対応している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7 (100%)			地域の清掃や行事において、地域住民に参加の告知を行っている	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7 (100%)			コロナウイルスの流行により、大阪府の情報や学校等の情報を取り入れ、事業所独自の対応マニュアルを作成し、職員・保護者に周知している	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7 (100%)			年一回の防災カフェを開催、子どもたちには定期的に火災・地震の避難訓練を行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7 (100%)			虐待防止委員会を設置し、研修は年一回行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7 (100%)			・身体拘束委員会を設置している ・個別支援計画に記載している	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7 (100%)				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7 (100%)			職員が誰でも手に取れるよう、ファイル管理し保管している。ヒヤリハットが起きた際にはすぐに事業所内で共有し対応を話し合っている	